

浄瑠璃寺九体阿弥陀修理完成記念  
特別展「京都・南山城の仏像」  
2023年9月16日(土)~11月12日(日)

2023  
9/16[土] ~ 11/12[日]

特別展  
南京  
山都  
城の  
仏像

浄瑠璃寺九体阿弥陀修理完成記念

開館時間: 午前9時30分~午後5時 ※入館は閉館の30分前まで  
休館日: 月曜日(ただし9月18日、10月9日は開館)・9月19日(火)、10月10日(水)  
主催: 東京国立博物館、日本経済新聞社、テレビ東京、BSテレビ東京  
協賛: JR東海、竹中工務店、NISSHA  
特別協力: 京都南山城古寺の会  
観覧料: 一般1,500円、大学生800円、高校生500円  
お問い合わせ: ハローダイヤル 050-5541-8600  
展覧会公式サイト: <https://yamashiro-tokyo.exhn.jp/>

Special Exhibition  
TM 東京国立博物館 TOKYO NATIONAL MUSEUM 本館 [上野公園 UENO PARK] 特別展示室 <https://www.tnm.jp/> (東京国立博物館のエリア外)  
Celebrating the Completion of Conservation Work on Jōruriji Temple's Amida Statues  
Buddhist Sculptures from  
Minami Yamashiro in Kyoto

東京国立博物館(東京・上野公園)では、2023年9月16日(土)から11月12日(日)まで、浄瑠璃寺九体阿弥陀修理完成記念 特別展「京都・南山城の仏像」を開催します。

京都府の最南部、木津川に育まれた風光明媚な一帯は南山城と呼ばれます。京都と奈良の間に位置し、独自の仏教文化が花開いたこの地には奈良時代や平安時代に創建された古刹が点在し、そこには優れた仏像が伝わります。

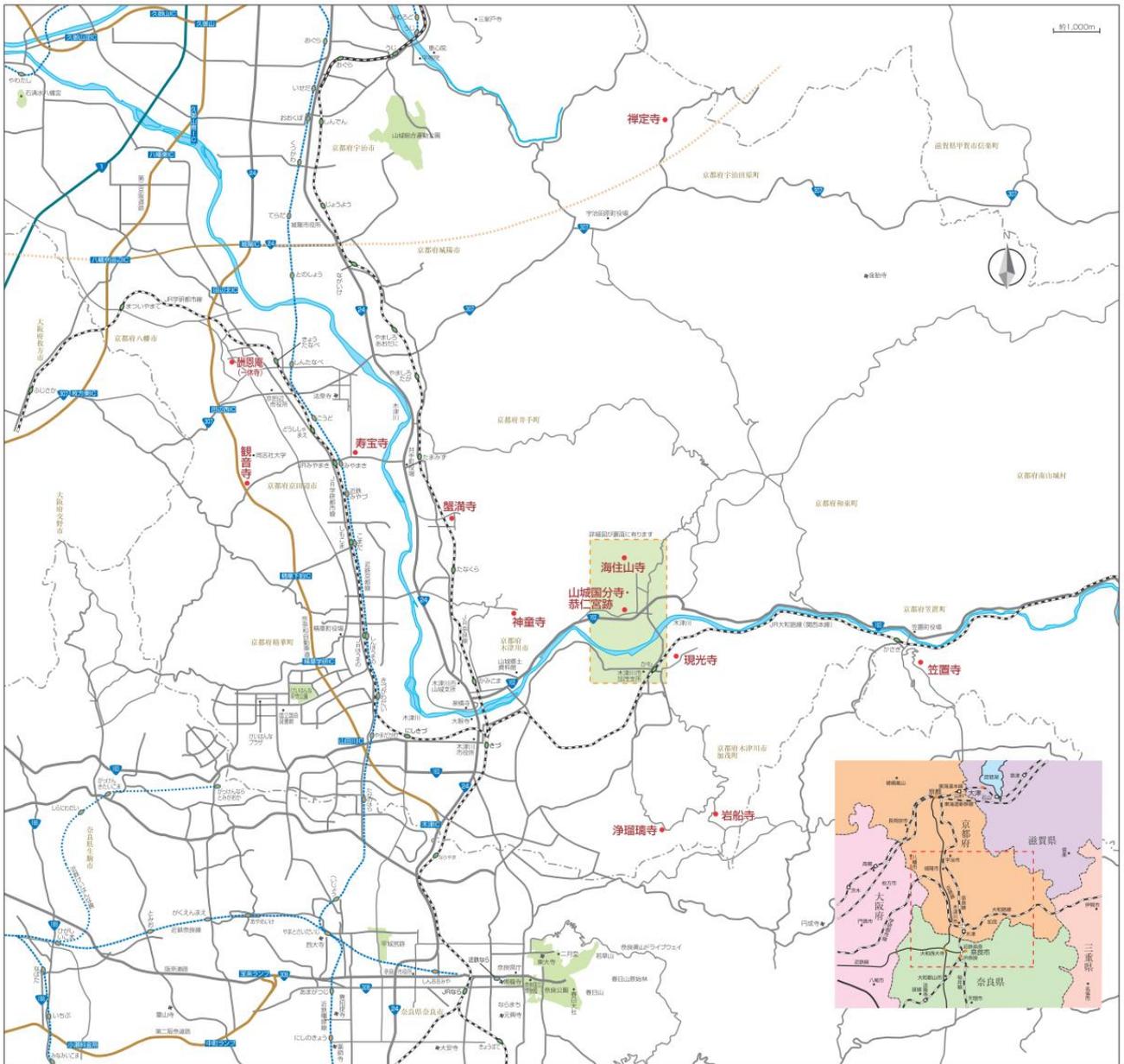
平安時代に貴族たちが極楽往生を願い、九体阿弥陀(9体の阿弥陀如来像)を阿弥陀堂に安置することが流行しましたが、九体寺とも呼ばれる浄瑠璃寺には当時の彫像・堂宇が唯一現存します。9体の阿弥陀如来像が並ぶ様子はまさに極楽浄土の世界を表わしています。また、かつて恭仁京があった瓶原を山腹から望む海住山寺の檀像の《十一面観音菩薩立像》(重要文化財)は、鋭く明快な彫りが魅力の平安時代初期の名作として知られ、10世紀末に東大寺の平崇上人が創建した禅定寺には、彫刻の造形が和様化し始めた時代の特徴を示す巨大な《十一面観音菩薩立像》(重要文化財)が伝わります。そして、極楽寺の《阿弥陀如来立像》(重要文化財、行快作)のように、鎌倉時代に奈良の地で活躍した慶派仏師の手になる仏像も存在しています。それぞれの時代に作られた仏像が伝わることは、この地が絶え間なく信仰の場であったことを表わしています。

本展は、浄瑠璃寺の九体阿弥陀の修理完成を記念して開催されるものです。南山城に伝わる国宝、重要文化財をはじめとする数々の貴重な仏像を通じて、その歴史や文化の奥深さを辿ります。

## 【開催概要】

- 展覧会名：浄瑠璃寺九体阿弥陀修理完成記念 特別展「京都・南山城の仏像」  
Special Exhibition  
Celebrating the Completion of Conservation Work on Jōruriji Temple's Amida Statues  
Buddhist Sculptures from Minami Yamashiro in Kyoto
- 会 期：2023年9月16日(土)～11月12日(日)
- 会 場：東京国立博物館 本館特別5室
- 開館時間：午前9時30分～午後5時 ※入館は閉館の30分前まで
- 休 館 日：月曜日(ただし、9月18日、10月9日は開館)、9月19日(火)、10月10日(火)
- 主 催：東京国立博物館、日本経済新聞社、テレビ東京、BS テレビ東京
- 協 賛：JR 東海、竹中工務店、NISSHA
- 特別協力：京都南山城古寺の会
- 公式サイト：<https://yamashiro-tokyo.exhn.jp>
- 公式 SNS：@m.yamashiro2023 (Twitter)
- 問い合わせ：050-5541-8600(ハローダイヤル)
- 観 覧 料：当日 一般 1,500円 大学生 800円 高校生 500円

※展示作品、会期、開館時間、休館日等については、今後の諸事情により変更する場合があります。



南山城は奈良県と隣接する京都府の最南部を指し、京都の旧国名の山城国やまき国のくににちなみます。南北に流れる木津川きつがわに育まれた自然豊かなこの地の歴史を紐解くと、日本仏教史上、特筆すべき重要な場所であったことが分かります。

奈良時代の初めに都が平城京（現在の奈良）へとつり、東大寺や興福寺などの大寺院の造営に必要な大量の木材は、木津川上流に位置する加茂、和束、笠置などで伐り出され、川を下って船着き場で陸揚げされて平城京へと運ばれました。奈良時代後半には聖武天皇がこの地で恭仁京きょうにんを造営し、国の重要儀式を行う場所である大極殿たいごくでんを引き継いだ山城国分寺の巨大な礎石が残ります。恭仁京造営以降は数々の寺院が創建され、平安時代には中央貴族や大寺院の荘園が増えていきます。平安時代中期には、貴族たちが極楽往生を願って阿弥陀如来に祈りを捧げたのを背景に南山城の寺院にも阿弥陀堂が建てられました。鎌倉時代にこの地に隠棲した奈良の大寺院の僧侶たちの存在によって庶民にも仏教が浸透し、村の共同墓地としての石塔などが建てられるようになりました。

古代の景色をいまに伝えるこの里山では、京都と奈良の両方の文化の影響を受けて独自の仏教文化が展開してきたのです。

## 【展覧会の見どころと主な作品紹介】

### 1. 浄瑠璃寺九体阿弥陀 明治期以来およそ110年ぶりの修理完成記念

何百年も前に作られた仏像が長い時間を経て今に伝わるのは、それを守ろうとする人々の意志のもと、繰り返し修理が行なわれてきたためです。このたび、浄瑠璃寺の九体阿弥陀はおよそ110年ぶりに大規模な修理が行われました。次の100年へ伝えるための一大事業です。



国宝 阿弥陀如来坐像(九体阿弥陀)  
京都・浄瑠璃寺  
画像提供:飛鳥園

### 【浄瑠璃寺九体阿弥陀修理事業について】

浄瑠璃寺の本堂に安置される平安時代の9体の阿弥陀如来坐像が2018年度から2022年度までの5年をかけて修理されました。2020年度には最も大きい中尊像1体、それ以外は毎年度2体ずつ、本堂から奈良国立博物館の文化財保存修理所へと運び出し、公益財団法人美術院によって、像の表面の漆や金箔の浮き上がりを抑え、傷みや破損がある箇所処置が行なわれました。



広報画像⑤  
浄瑠璃寺九体阿弥陀堂 画像提供:飛鳥園

## 2. 平安時代の仏像の変遷が一堂に見られる

古代に創建された寺院が点在する南山城は仏教彫刻の宝庫です。とくに奈良の大寺院や中央貴族と結びつきを強めた平安時代には、優れた仏像が数多く作られました。本展の出品作を通じて、およそ400年におよぶ平安時代彫刻の変遷を概観できます。



現存唯一の平安時代の九体阿弥陀のうちの1体。丸い顔立ちや浅い衣文表現など、総じて穏やかな作風は平安時代後期に流行した定朝様の特徴です。平安時代に仏の教えが廃れる末法思想を背景に、阿弥陀如来が住む極楽浄土に生まれ変わることを願う信仰が隆盛しました。現世での行ないに応じて9段階の極楽往生の方法があるとされ、それに関わる9体の阿弥陀如来像いわゆる九体阿弥陀が作られ、専用の堂宇である九体阿弥陀堂に安置されました。記録の上では30例ほど確認できますが、当時の彫像と堂宇が現存するのは浄瑠璃寺だけです。

### 広報画像①

国宝 阿弥陀如来坐像(九体阿弥陀のうち)  
平安時代(12世紀) 京都・浄瑠璃寺



平安時代初期の木彫像を代表する名作。大半をきめの細かい一本の木材から彫り出し、材の特性を生かして目鼻や衣の襷を切れ味鋭く明快に刻む点に高い技術がうかがえ、全身を弓なりに反らせて右膝を少し曲げた流麗な姿勢は優れた造形感覚を示します。鎌倉時代に海住山寺を再興した興福寺僧・貞慶しやうけいの念持仏であったと伝わります。

### 広報画像②

重要文化財 十一面観音菩薩立像  
平安時代(9世紀) 京都・海住山寺



高さ約3メートルもの巨大な十一面観音菩薩。禅定寺創建時からの本尊です。柔らかな顔立ちやなだらかな体つき、衣の襞を浅く表わす点は、彫刻造形が和様化し始めた平安時代中期の特徴を示します。禅定寺は藤原家の援助を受けて東大寺の平崇上人が創建した奈良とゆかりの深い寺院で、本像の制作にも東大寺で活動した仏師の関与が想定されています。

広報画像③

重要文化財 十一面観音菩薩立像

平安時代(10世紀) 京都・禅定寺

### 3. 鎌倉時代の作品にも注目



鎌倉時代に奈良で活躍した慶派仏師の仏像。像内の納入品から、運慶とともに東大寺や興福寺の仏像制作を手掛けた快慶の亡くなった時期下限が分かる点が貴重です。作者は快慶の弟子の行快とされ、整った顔立ちや細かい衣の襞など、師の作風を受け継いでいます。奈良の大寺院や鎌倉幕府に重用された慶派仏師たちが南山城でも活動したことが分かります。

広報画像④

重要文化財 阿弥陀如来立像

鎌倉時代・嘉禄3年(1227)頃 行快作 京都・極楽寺

## 【展覧会関連情報】

◎仏像大使にみうらじゅんさん、いとうせいこうさんが就任！

仏像好きのお二人が、本展の仏像大使(広報大使)に就任しました。  
展覧会オリジナルグッズの開発や音声ガイドへの特別出演などの活動を行うほか、会期中にトークショーを開催します。

◆3月下旬に開催されたグッズ開発会議の映像

<https://youtu.be/oVrpg2gMSD8>



みうらじゅん氏



いとうせいこう氏

◎横山由依さんが音声ガイドナビゲーターに決定！

女優／タレントの横山由依さんが音声ガイドナビゲーターを務めます。  
横山さんは南山城地域の中心部である京都府木津川市の出身で、「京都やましろ観光大使」も務められています。



## 【奈良展開催概要】

- 展覧会名：浄瑠璃寺九体阿弥陀修理完成記念 特別展「聖地 南山城－奈良と京都を結ぶ祈りの至宝－」  
Special Exhibition  
Celebrating the Completion of Repairs to Joruriji's National Treasure Amida Statues  
Numinous Minamiyamashiro Treasures from the Mountains between Nara and Kyoto
- 会 期：2023年7月8日(土)～9月3日(日)
- 会 場：奈良国立博物館 東西新館
- 主 催：奈良国立博物館、日本経済新聞社、テレビ大阪
- 後 援：京都府、京都府教育委員会、木津川市、京田辺市、城陽市、井手町、宇治田原町、笠置町、  
精華町、南山城村、和束町
- 協 賛：JR 東海、竹中工務店、NISSHA、福寿園
- 特別協力：京都南山城古寺の会
- 協 力：京都山城地域振興社、日本香堂、仏教美術協会
- 公式サイト：<https://yamashiro-nara.exhn.jp>

### 【報道に関する問い合わせ】

特別展「京都・南山城の仏像」広報事務局(共同 PR 内) 担当:三井

TEL:03-6264-2382

E-mail:[yamashiro-tokyo-pr@kyodo-pr.co.jp](mailto:yamashiro-tokyo-pr@kyodo-pr.co.jp)